

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

宝塚中心市街地(第二期)地区

令和4年10月

兵庫県宝塚市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	中心市街地の公共公益施設利用者数	人/年度	1,157,372	1,302,000	1,505,290	確定		○	あり	●	922,395 (R2)	R4年3月	△	新型コロナウイルス感染症の影響のため	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	文化芸術センターがオープンし多くの来場者があったが、他の施設においてはコロナ禍により利用者が大幅に減少した。令和3年度は1,418,534人となっており目標を達成している。
指標2	中心市街地の鉄道の乗降者数	人/日	127,995	132,000	123,226	確定		×	あり	●	90,525 (R2)	R4年3月	×	新型コロナウイルス感染症の影響のため	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	コロナ禍により大幅に減少した駅乗降者数の回復状況の見通しはつかないが、中心市街地の公共施設の来場者数は回復傾向にある。引き続き地区全体でのにぎわいづくりを実施していく必要がある。
指標3	イベント開催回数	回/年度	18	22	21	確定		△	あり	●	52 (R2)	R4年3月	○	文化芸術センターがオープンし大小様々なイベントを開催できたため	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	コロナ禍により中止となったイベントも多くあったが、その状況下でも文化芸術センターにおいて様々なイベントを開催できた。今後はその効果をエリア全体に広げる仕組みづくりが必要である。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	文化芸術センター利用者アンケートによる総合評価の満足、どちらかというと満足の割合	%	—	/	—	確定	/	/	94.6	R4年3月	/		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	令和3年度に指定管理者により実施し、コロナ禍であったため標本数は少なかったが、すべての項目で概ね満足度が高い結果であった。今後も引き続き、来場者や貸館利用者などターゲット毎にきめ細かくアンケートを実施し、事業運営に活かしていく必要がある。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	宝塚市立文化芸術センターの建設による、文化芸術振興の拠点の整備(創出)	○コロナ禍により文化芸術センターのオープニング式典は中止となり、オープンが4月から6月に延期となったが、オープン後は感染症対策を実施しながら様々な事業を実施した。	○コロナ禍でのオープンにも関わらず、多くの来場者があったが、有料展示入場者は目標を大きく下回っており、文化芸術振興の拠点としての継続した取組が必要である。 ○文化芸術センター及び庭園の来場者が中心市街地地区全体のにぎわいにつながるよう市民、民間を巻き込んだ取組が今後も必要である。
	・文化芸術関連のイベントを開催及び機運づくり	○コロナ禍により文化芸術センターのオープニング式典は中止となり、オープンが4月から6月に延期となったが、オープン後は感染症対策を実施しながら様々な事業を実施した。 ○駅からの動線である「花のみち」での大学生のデザインによるアートフラッグ掲示、民間施設も含め多くの施設と連携したスタンプラリーや美術展の実施、文化団体連絡会などが主催する「たからんまつり」に文化芸術センターも会場の一つとして協力する等、文化芸術センターを含む中心市街地地区を中心として多くの施設や団体と連携したイベントを実施した。 ○文化芸術センターが市民に支えられ、市民と共に成長する施設とするため市民サポーター制度を導入し、庭園の植栽管理やライブラリーの図書整理などの活動を行った。	○子どもから大人まで幅広い世代を対象とした親しみやすい企画展や市内小中学生の作品展などを定期的に開催し、展覧会への来場者の増加を図る。 ○近畿一円や全国からの来客が期待できる展覧会やイベントの誘致にも努める。 ○文化芸術センターと手塚治虫記念館、宝塚文化創造館の3施設と文化政策課で構成する文化芸術拠点連携促進協議会を引き続き開催し、各施設の周遊を促すような仕組みづくりに取り組む。 ○文化芸術センター及び庭園で実施する様々な取組を、中心市街地にある「花のみち」や河川敷等の公共空間を活用し定期的に開催するなど、地区全体として一体となったにぎわいづくりに努める。 ○市民や団体、商業施設等の民間とともに、中心市街地地区全体の活性化に向けた取組を検討していく必要がある。
	市民に親しまれてきた緑地の面影を残した、新たな庭園の運営	○文化芸術センターが市民に支えられ、市民と共に成長する施設とするため市民サポーター制度を導入し、庭園に設置した市民花壇の管理などを行った。 ○指定管理者による文化芸術センターと庭園の一体運営を行い、庭園を活用したミニコンサートやワークショップなど、様々な事業を実施した。 ○本市で初めて公園運営における指定管理者制度が導入され、文化芸術センターと一体となったことにより、市民や団体による幅広い目的での利用につながった。	○令和2年度、文化芸術センターには333,683人、庭園には119,202人の来場者があった。 ○アートによる観光まちづくり事業では、中心市街地を含む市内各地で実施し、7,101人の参加があった。 ○令和2年度 市民サポーター登録者数 60人
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	・文化芸術を通じた、集客効果のある運営やソフト事業の実施 (当該地区全体の文化芸術拠点地区としての賑わいづくり)	○指定管理者による文化芸術センターと庭園の一体運営を行い、民間のノウハウを活かしながら様々な事業を実施した。 ○駅からの動線である「花のみち」での大学生のデザインによるアートフラッグ掲示、民間施設も含め多くの施設と連携したスタンプラリーや美術展の実施、文化団体連絡会などが主催する「たからんまつり」に文化芸術センターも会場の一つとして協力する等、文化芸術センターを含む中心市街地地区を中心として多くの施設や団体と連携したイベントを実施した。	○令和2年度、文化芸術センターには333,683人、庭園には119,202人の来場者があった。 ○アートによる観光まちづくり事業では、中心市街地を含む市内各地で実施し、7,101人の参加があった。
	・宝塚市立文化芸術センターのオープンと併せ、集客力向上のため、他の既存施設との連携 (センターを軸とした他の既存施設との連携事業推進の仕組みづくり)	○駅からの動線である「花のみち」での大学生のデザインによるアートフラッグ掲示、民間施設も含め多くの施設と連携したスタンプラリーや美術展の実施、文化団体連絡会などが主催する「たからんまつり」に文化芸術センターも会場の一つとして協力する等、文化芸術センターを含む中心市街地地区を中心として多くの施設や団体と連携したイベントを実施した。 ○コロナ禍により中止となったが、他市施設で実施されていた展示会等を文化芸術センターに誘致し、文化芸術の拠点施設としての質を高め、他市からの集客を図るよう計画した。	○令和2年度、文化芸術センターには333,683人、庭園には119,202人の来場者があった。 ○アートによる観光まちづくり事業では、中心市街地を含む市内各地で実施し、7,101人の参加があった。
	・公園運営における指定管理者制度の導入	○指定管理者による文化芸術センターと庭園の一体運営を行い、庭園を活用したミニコンサートやワークショップなど、様々な事業を実施した。 ○民間施設も含め多くの施設と連携したスタンプラリーや美術展の実施、文化団体連絡会などが主催する「たからんまつり」に文化芸術センターも会場の一つとして協力する等、文化芸術センターを含む中心市街地地区を中心として多くの施設や団体と連携したイベントを実施した。 ○本市で初めて公園運営における指定管理者制度が導入され、文化芸術センターと一体となったことにより、市民や団体による幅広い目的での利用につながった。	○令和2年度、文化芸術センターには333,683人、庭園には119,202人の来場者があった。 ○新型コロナウイルス感染症の収束に合わせ、屋上庭園なども含めた屋外イベントを貸館での誘致も含め実施している。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記
*()部分はフォローアップ報告書から新たに追記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
なし			

都市再生整備計画(第4回変更)

宝塚中心市街地(第二期)地区

兵庫県 宝塚市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	宝塚市	地区名	宝塚中心市街地(第二期)地区	面積	69 ha
計画期間	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度				

目標

- 大目標 魅力ある都市機能の集積と文化・芸術を通じた交流の活発化による活力と賑わいのあるまちづくり
- 目標1 中心市街地にふさわしい宝塚らしい文化・芸術の交流拠点の整備と既存の観光・文化資源とのネットワークの形成による宝塚の新たな魅力と活力の創造
- 目標2 市民や事業者など多様な主体が実施する文化・芸術活動等による人の交流の活発化と賑わいのあるまちづくりの推進

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

○中心市街地を取り巻く状況

- ・本市は、宝塚歌劇、宝塚温泉や武田尾温泉、清荒神や中山寺などの神社仏閣、小浜宿などの歴史的資源、阪神競馬場やゴルフ場、長尾地区の植木・花卉産業などの豊富な観光・レクリエーション資源を有しており、観光入込客数は、平成5年の約1,200万人をピークに1,000万人を超える状況であった。特に、宝塚・宝塚南口地区は、歌劇と温泉、宝塚ファミリーランド、市立手塚治虫記念館など宝塚らしさを構成する地域固有の資源が集中しており、同地区の観光入込客数はおおむね400万人前後で、本市の中心的位置を占めてきた。
- ・平成15年4月の宝塚ファミリーランドの閉園以後、同地区の観光入込客数は、平成14年度の約410万人から平成15年度は約170万人に、平成23年度は約150万人に減少した。
- ・宝塚ファミリーランドの跡地に開園していた宝塚ガーデンフィールズが平成25年12月下旬に閉園し、その跡地は民間による開発が進められている。
- ・相次ぐ郊外型大型店舗の進出や近年の社会経済情勢による消費の低迷などにより商業機能が低下し、中心市街地の活力は低下している。

○本地区の特徴

- ・本地区は、土地利用の状況や都市施設の集積状況などから、商業・業務、観光、文化、交通などの中心であり、1世紀にわたり本市の「観光都市」としての顔となってきた地区である。
- ・JR宝塚駅、阪急宝塚駅及び宝塚南口駅が結接するとともに、広域幹線道の国道176号が通過し、また、歌劇や温泉、宝塚ガーデンフィールズ、市立手塚治虫記念館などの集客施設が立地していることから、市内外から多くの人々が訪れている。

○本地区におけるまちづくりの経緯

- ・昭和51年～平成13年(完成年度)にかけて、都市における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを目的として市街地再開発事業等を実施し、中心市街地としての機能の向上や環境・景観の整備及び活性化に努めてきた。
- ・本地区を含む区域において、中心市街地活性化基本計画の認定を受け、中心市街地の機能回復、郊外への拡散の防止、公共交通の利用促進に取り組んできた。(平成20年3月～24年3月)
- ・平成17年度～21年度にかけて実施したまちづくり交付金事業(宝塚中心市街地地区)等により、市立宝塚文化創造館(宝塚音楽学校旧校舎)及び花のみち・さくら橋公園等の整備や大学・市民等による河川敷でのオープンカフェ、イルミネーションイベント等が実現された。

○まちづくりの気運

- ・宝塚ファミリーランドの閉園は、経営母体(阪急電鉄)を同じくする宝塚歌劇の存続の危機感を生み、歌劇を市民とともに守り、育てるという気運が市民の間でも醸成されてきており、平成26年の宝塚歌劇100周年を契機に、市をあげて宝塚歌劇を支援する取り組みを進めることとしている。
- ・また、宝塚ガーデンフィールズ内の英国風庭園「シーズンズ」(約0.9ha)は、宝塚ファミリーランド時代からの樹木や庭園に多様な生物が生息する貴重な空間であり、文化、観光の資源としての位置づけと併せ、緑地帯の保存や再活用を要望する市民運動が起きている。

課題

集客施設としての効用のみならず、貴重な緑地として中心市街地の良好な都市環境に寄与してきた宝塚ガーデンフィールズの閉園により、

- ・交流拠点のひとつを失うことによる集客力の低下
- ・都市に潤いをもたらす緑地の喪失

が懸念されるため、

- ・本地区固有の観光・文化資源を充実し活かすとともに、新たな魅力の創出により本地区のアイデンティティを再構築し発信する方策
- ・市民と多様な主体が連携した「おもてなしの心あふれる」文化発信のイベント等の取り組みによる活力と賑わいの創出
- ・市民に親しまれてきた緑地の保全

が求められる。

また、中心市街地の道路の一部では歩道の整備が不十分な箇所があり、市民や訪れる観光客等の安全確保を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)

【第5次宝塚市総合計画(平成23年度～32年度)】

- ・本地区の将来都市構造は、①全市民や来訪者のために必要な都市機能の集積を促進し、②宝塚歌劇をはじめとする広域圏を対象とした観光・文化の拠点であるとともに、市民と来訪者が集い、交流する拠点として多様な集客拠点にふさわしい複合的な都市機能の集積を図ることとしている。

【たからづか都市計画マスタープラン(平成24年度～33年度)】

- ・本地区は、宝塚らしい観光・文化・芸術の拠点としての機能を強化し、また、市民と来訪者が集い、交流する拠点として、多様な集客拠点にふさわしい複合的な都市機能の集積を図り、新たな魅力づくりを通じて都心観光商業地としてポテンシャルの向上に努めることとしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
中心市街地の公共公益施設利用者数	人／年度	主要観光・文化等集客施設(宝塚大劇場、手塚治虫記念館、宝塚文化創造館、(仮称)宝塚地域交流センター)の利用者数	新たな魅力の創造により集客力の向上を図る。主要な観光・文化等集客施設への来訪者数を12%増と見込む。	1,157,372人	H24	1,302,000	H30
中心市街地の鉄道駅の乗降者数	人／日	JR・阪急宝塚駅、阪急宝塚南口駅の一日平均乗降者数	訪れてみたいまちづくりによる賑わいの創出を図る。鉄道駅の乗降者数量を3%増と見込む。	127,995人	H24	132,000人	H30
イベント開催回数	回／年度	中心市街地(地区内)における協働によるイベント数	市民との協働の推進の指標として地区内での活動開催回数を20%増と見込む。	18回	H24	22回	H30

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
○整備方針1 【中心市街地にふさわしい宝塚らしい文化・芸術の交流拠点の整備と既存の観光・文化資源とのネットワークの形成による宝塚の新たな魅力と活力の創造】 ・平成25年12月下旬に閉園した宝塚ガーデンフィールズの跡地を活用して緑に囲まれた交流拠点を整備し、集客・交流・文化・芸術機能の充実を図る。 ・観光プロムナードや市立手塚治虫記念館、周辺道路などとの一体的な整備を行い、既存の観光・文化資源などの有効活用と回遊性の確保により賑わいの再生を図る。	■基幹事業 ・高次都市施設：(仮称)宝塚地域交流センター整備 ・道路：市道新設整備 ・公園：(仮称)宝塚武庫川町公園整備(既存庭園を生かした) ・高質空間形成施設：(仮称)宝塚地域交流センター屋上庭園 □提案事業 ・地域創造支援事業：市立手塚治虫記念館スロープ撤去・新設 ○関連事業 ※参考記載 ・宝塚ガーデンフィールズ跡地開発事業(土地区画整理事業)
○整備方針2 【市民や事業者など多様な主体が実施する文化・芸術活動等による人の交流の活発化と賑わいのあるまちづくりの推進】 ・観光プロムナード周辺施設などを活用し、市民と来訪者、市民と市民の交流を促進し賑わいの創出を図るため、官民協働による交流イベントなどの実施を行う。 ・従来から推進してきた官民協働のまちづくりをさらに進め、市民や事業者など多様な主体の連携による宝塚らしい地域活動の活発化や情報の発信により、まちの魅力の向上を図る。	■基幹事業 ・地域生活基盤施設：駅前広場整備、歩行者誘導サイン整備 ・高質空間形成施設：モニュメント整備、ベンチ設置 □提案事業 ・地域創造支援事業：地域活性化イベント等の実施 ・まちづくり活動推進事業：ワークショップの開催 ○関連事業 ※参考記載 ・トリプル周年記念事業(市制60周年・宝塚歌劇100周年・市立手塚治虫記念館開館20周年)(再掲)
その他	

交付対象事業費	3,526	交付限度額	1,410.4	国費率	0.4
---------	-------	-------	---------	-----	-----

基幹事業	事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体	交付期間内	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費			
	細項目	事業箇所名					事業主体	直／間	規模	開始年度	終了年度	開始年度				終了年度	事業費	事業費
道路公園	宝塚ガーデンフィールズ緑地	市道新設(歩道その1)	宝塚市	直	110m	H26	H26	H26	H26	22.8	22.8	22.8		22.8				
河川	宝塚ガーデンフィールズ緑地	(仮称)宝塚武庫川町公園	宝塚市	直	7,505㎡	H26	H30	H26	H30	1,330.9	1,330.9	1,330.9		1,330.9				
下水道																		
駐車場有効利用システム																		
地域生活基盤施設	宝塚駅前	駅前広場整備	宝塚市	直	567㎡	H26	H26	H26	H26	7.4	7.4	7.4		7.4				
地域生活基盤施設	宝塚駅前	歩行者誘導サイン	宝塚市	直	5箇所	H26	H26	H26	H26	3.8	3.8	3.8		3.8				
高質空間形成施設	宝塚ガーデンフィールズ緑地	(仮称)宝塚地域交流センター屋上庭園	宝塚市	直	1,544㎡	H30	H30	H30	H30	62.9	62.9	62.9		62.9				
高質空間形成施設	宝塚駅前	モニュメント	宝塚市	直		H26	H26	H26	H26	12.0	12.0	12.0		12.0				
高質空間形成施設	宝塚駅前	ベンチ	宝塚市	直		H26	H26	H26	H26	1.0	1.0	1.0		1.0				
高次都市施設	宝塚ガーデンフィールズ緑地	(仮称)宝塚地域交流セン	宝塚市	直	2,778㎡	H26	H30	H26	H30	2,067.3	2,067.3	2,067.3		2,067.3				
既存建造物活用事業																		
都市再生交通拠点整備事業																		
土地区画整理事業																		
市街地再開発事業																		
住宅街区整備事業																		
地区再開発事業																		
人にやさしいまちづくり事業																		
優良建築物等整備事業																		
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型																	
街なみ環境整備事業																		
住宅地区改良事業等																		
都心共同住宅供給事業																		
公営住宅等整備																		
都市再生住宅等整備																		
防災街区整備事業																		
合計										3,508.1	3,508.1	3,508.1	0.0	3,508.1				
提案事業																		
地域創造 支援事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体	交付期間内	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費			
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費						
市立手塚治虫記念館スロープ撤去・新設	宝塚市	直		H28	H30	H28	H30	14.7	14.7	14.7		14.7						
地域活性化イベント等の実施	宝塚市	直		H29	H29	H29	H29	0.3	0.3	0.3		0.3						
事業活用 調査	ワークショップの開催	―	宝塚市	直			H28	H28	H28	H28	3.0	3.0	3.0		3.0			
まちづくり活動推進事業																		
合計											18	18	18	0	18			
														合計(A+B)	3,526.1			

[illegible]

たからづ かしゅうしんしがいち だい に き ち く ひょうごけんたからづかし 宝塚中心市街地(第二期)地区(兵庫県宝塚市)	面積	69 ha	区域	むこがわちよう うめのちよう さかえまち ちようめ ちようめ かわも ちようめ ゆもとちよう む ちやま ちようめ ちよ 武庫川町、梅野町の全部と栄町1丁目、2丁目、川面5丁目、湯本町、武庫山1丁目、2丁 目、みなみぐちちようめ ちようめ 目、南口1丁目、2丁目の一部
--	-----------	--------------	-----------	--

